

令和6年7月11日

大阪府立柴島高等学校 第1回 学校運営協議会 議事録

1 会議日時 令和6年7月11日(木) 15:00~16:30

2 開催場所 大阪府立柴島高等学校 校長室

3 委員

	名前	資格	所属	出欠
会長	森田 英嗣	学識経験者	大阪教育大学 教授	○
副会長	山本 了照	地域の関係者	大阪市立淡路中学校 校長	○
委員	表西 貴文	地域の関係者	大阪市新大阪人権協会 評議員	○
委員	三木 幸美	学校運営に資する活動を行う者	とよなか国際交流協会 事業主任	○
委員	坂本 浩子	その他の関係者	大阪府立柴島高等学校後援会 会計	○
委員	坂元 直美	保護者	大阪府立柴島高等学校PTA 会長	○

4 事務局(学校側)

小畑 龍業(教頭) 三輪 真嗣(首席) 内田 清彦(首席) 中川 智子(人権教育主担)
時安 希未子(人権教育副主担) 堀 博俊(事務長) 森田 正良(校長)

5 次第

- 校長あいさつ
- 会長あいさつ
- 委員の紹介
- 事務局より報告
 - ・学校経営計画について
 - ・人権教育推進にかかわる年間方針について
 - ・各校務分掌及び学年の年間方針について
- 質疑応答
- 今後の予定

6 会議の概要

- 学校経営計画について(校長)
 - ・昨年度の学校運営協議会の意見も踏まえて作成しているので、詳しい説明は割愛するが、あらためてご確認をお願いする。引き続き、総合学科の学力育成、人権教育、インクルーシブ教育を柱にしながら、校務の効率化や働き方改革に言及している。今年度は特に、府教育庁からの指示もあり、部活動に関わる顧問の働き方改革について書き加えた。

○人権教育推進にかかわる年間方針について（事務局）

- ・学校経営計画と同様、昨年度の意見も踏まえて作成した。その後、教職員研修の計画が確定したので、追記している。
- ・今年度は、創立50周年を機に、本校の取組を振り返り、原点に立ち返りつつ、今後に繋げていきたいと思っている。そのため、7月には、本校の草創期の人権教育に尽力された成山治彦先生を教職員研修にお招きして、ご講演いただく予定。

【質疑応答】

委員) 部活動の働き方改革について、中学校では人材バンクで指導員を雇うことができる。また、大学生のボランティア制度なども活用できる。

校長) 府にも制度はあるが、予算に限りがあり、人探しにも限界がある。

事務局) 現状では顧問からの申し出も少ない。どこまで任すことができるのか気になるようだ。

事務局) 本校では、女子サッカー部等で有効に活用している。

委員) 顧問の思いと働き方改革の両面から考えていく必要がある。

会長) 経営計画に記されている「部活動方針」とはどのようなものか？

校長) 府から出されている「部活動の在り方に関する方針」に基づき、各校で「部活動方針」を定めている。活動時間や休養日など、設定された基準を遵守するよう言われている。

○各校務分掌及び学年の年間方針について（事務局）

<総務・教務・生活指導・進路指導・保健・集団育成・自立支援・各学年の順にポイントを説明>

- ・今年度は特に、広報活動・中高連携に注力して取組みたい。
- ・教務関係では、引き続き、業務の円滑な運営と効率化を進めていく。
- ・生徒一人ひとりの情報共有、保護者との連携が進んでいる。
- ・今年度も重点目標として、しっかりあいさつすること、いじめを見逃さないことなどを掲げている。問題行動としては、ネット上のトラブルがめだっている。
- ・スタディサプリを導入し各授業でも積極的に活用しているが、まだ十分に使いこなせていないところもある。実力テストのデータ分析やマネープランの情報共有も進めているところ。
- ・安全管理に力を入れている。事故を未然に防いだり被害を最小限に抑えたりするために、年度の早期に救急法講習会を開催するなど、事案に対応できる体制づくりを意識している。
- ・生徒会を核とした学校づくりをめざし、執行部の育成に力を入れている。
- ・アミティエ生と周囲の生徒との関わりを重視している。また、様々な教員が関わるというスタイルも浸透してきた。進路保障の取組を充実させるとともに、授業のあり方も柔軟に見直していきたい。
- ・3年生の成長は著しく、学校全体をまとめあげるようになった。自分たちで相談し、できることを実現させてきた。アミティエ生も学年に位置づいているのが印象的。
- ・2年生では、各担任が生徒との対話を重視して、丁寧に取組んでいる。生徒集団として主体的に動く機会をつくっていきたい。
- ・1年生は例年に比べ元気であり、早い時期から学校に慣れてきている。保護者と緊密に連携しながら生徒を支援し、安全安心に学校生活を送っていけるようにしたい。

【質疑応答】

委員) 生徒の情報共有に関して、プライバシーの保護についてはどうしているか? また、進学のためのマネープランに関して、外国籍生徒、とりわけ在留資格「家族滞在」の生徒の状況は把握しているか?

事務局) 個人情報については、慎重に取扱っている。

委員) 自己開示の場では、特に大事になってくる。

事務局) 学校開きなど、今でも大切に位置づけている。また、マネープランについては、本校は家族滞在資格の生徒はほとんどいないのが現状だが、問題意識は持っており、外国人教育の研究会と連携をとりながら、情報収集を行っている。

委員) 今年から奨学金の支援対象が拡大されるなどの動きもあるので、よろしくお願ひしたい。

委員) あいさつが重点目標になっているが、どのような状況か?

校長) あいさつはよくできている。引き続き大事にしていきたいということ。

委員) あいさつができていると、地域からの評価もよくなる。中学校でも、部活動の生徒があいさつすることで、生徒会があいさつするようになり、そこから呼びかけて全校に広がっている。ただし、教員があいさつしないと潰れてしまうが…。また、いじめ見逃しゼロについてだが、中学校では生徒にリサーチして、全校集会で考えたりしている。

事務局) 高校でも実態アンケートは行っている。

委員) その辺のことも方針に書き加えたほうがよいのではないか。

委員) 保護者の立場から言うと、なかなか難しいと思うが、服装指導が気になる。また、安全安心で言うなら、プールの水が緑になっている件で、いろんな噂話が流れている。正確な情報発信をしてほしい。

事務局) プールが緑になっているのは藻の繁殖が原因。気象などが原因と考えられ、他校でも同様のところがあると聞いている。水質に問題はないが、これが気になってプールに入ることができない生徒もおり、それが原因で不利になることはないようにしたい。現在は薬品を使って改善されている。その辺のことを早速、情報発信させていただく。

委員) 議題とは離れるが、今年度から学校教育審議会でも議論している入試の改革について、各校で特色枠をつくるという話があるが、そうなると、柴島高校が今まで大切にしてきた人権や地域などをどう反映していくのか、これまでの経緯を踏まえて議論していただきたい。

校長) 学教審の議論がどういう制度設計に落とし込まれるのかはまだ不明。今後また、ご意見を承っていききたい。

委員) 部活動指導員の話に戻るが、ボランティアなら、どこまで責任を負えばいいのか?

事務局) 顧問なしで練習や試合の付添もできる。

校長) 有償ボランティアではなく、会計年度任用職員として責任も付与されている。

会長) 校務の効率化については、どのような状況か?

校長) 本校では、LINEWORKS を活用することで、効率化が進んでいる。また今後、教職員用の端末が更新され、ネットワークの使い勝手も改善される見込み。

事務局) それにより、教職員の表面上の勤務時間は減るはず。

委員) パソコンを持ち帰れるようになってから、確かに残業時間は減った。

会長) 生成 AI を使うことはできないのか?

事務局) 個人的には指導案などを作成している。使いこなすためにはある程度ノウハウがあるので、活用を広げるためには研修を行う必要があるが、そのための時間的余裕がない。

7 今後の予定

○創立 50 周年記念式典について

11 月 2 日（土）14:00～ 豊中市立文化芸術センターで開催

【質疑応答】

委員) 地域の関係者、卒業生、異動した教職員などを巻き込んだ形にしてほしい。40 周年のときの「バトン」(註: 本校のオリジナルソング) の演奏みたいなものもいいと思う。地域が共にできることがあれば協力したい。

事務局) 生徒の姿をご覧いただきたいので、生徒が主体になるような内容を計画している。地域からは「中島音頭」を本校でやってほしいという要望もあるので、生徒にやってもらう方向で準備している。

事務局) 「50 年のあゆみ」という舞台発表を考えている。その中で、いくつかの部活動による「中島音頭」や「バトン」のパフォーマンスも予定している。生徒からは「50 周年記念ソング」をやりたいという声もあり、場合によっては披露できるかもしれない。

委員) 式典の中では、展示もあるのか？

事務局) 外部会場なので、難しいと考えている。

会長) 以前にも言ったが、資料室などあればいいと思うが…。

事務局) この夏に一部の施設改修を行うが、前回のご指摘を踏まえ、その一環として、資料室兼応接室をつくる予定。

委員) 次回の学校運営協議会でも、進捗状況を報告してほしい。

○第 2 回学校運営協議会について

11 月に開催する方向で調整